

報道関係者 各位

和歌山県和歌山市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

和歌山県和歌山市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

(資料提供)

平成 22 年 1 月 22 日 13 時 00 分
和歌山市新型インフルエンザ対策本部
073-433-2261 担当: 保健対策課 森下・松浦

抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルス(A/H1N1)の確認について

オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す新型インフルエンザウイルスが検出されましたのでお知らせします。

厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

1 検査結果

- ・ 遺伝子解析(和歌山市衛生研究所実施 1月18日 (月)判明)
オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性マーカーH275Y 検出
- ・ 薬剤感受性試験(国立感染症研究所実施 1月22日 (金)判明)
オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性確認
ザナミビル(商品名:リレンザ)感受性確認

2 患者の概要

市内在住の19歳 男性
基礎疾患:脳性マヒ

3 経過

平成21年

- ・12月30日 発熱、咳等のインフルエンザ症状が出現。市内の医療機関を受診。
簡易検査 A(+)。別の医療機関(病院)を紹介され、入院。タミフル、リレンザ、抗生剤処方。

平成22年

- ・1月4日 PCR 検査により新型インフルエンザと確認。
症状悪化。
- ・1月6日 症状改善しないため、再度タミフル処方。簡易検査 A(+)を確認。
検体採取し、タミフル耐性検査を行う。
- ・1月7日 PCR 検査により新型インフルエンザと確認。
- ・1月12日 回復し、退院。

現在、この患者から周囲への感染拡大は認められていません。

4 その他

県内におけるタミフル耐性遺伝子の確認は、3例目です。
市内におけるタミフル耐性遺伝子の確認は、1例目です。